



白と黒の袴姿と弓を射る姿が勇ましい
弓道競技。弓道は日本古来の武道として
受け継がれ、今では心身鍛錬を目的とし
た競技の一つとして確立しています。

弓道の動きは至ってシンプル。「ねらい
を定めながら矢を射る」という、一見する
と単純な動作のようですが、実はこの一連
の動きの中にこそ、弓道の本質があると部
長の坂本功さん(工学部2年)は言います。

「弓道は、基礎の上に応用技術が必要
な一般スポーツとは違い、『射法八節』とい
われる基本動作だけで成り立っているよ
うなもの。気づかないうちにいつもとは違
う引き方をしていることがあり、そうな
ると的中が安定しません。その修正や調
整は難しいところですが、実はこの原因の
一つひとつを自分で探ることが弓道の面白
さであり、魅力だと思います。」



現在部員は21名。高校から弓道が続いている部員も多いそうです。

射法八節の動作が美しく成された時、 矢は的の真を射る。



広い弓道場は部員たちも気に入っていると。のびのびと、
また集中しながら練習ができるそうです。



弓道部 部長
坂本 功さん



歴代の表彰状がずらり。前回の全日
本学生弓道選手権大会では、女子が
団体で準優勝を果たしました。



基本動作を一つひとつ意識しながら、的を狙う練習を行っています。

一度練習が始まると、凜とした空気が漂
う弓道場。代々、練習時の集中する姿勢
が受け継がれているせいか、弓道部は男女
とも各弓道選手権大会で準優勝や入賞
という成績を残しています。

「弓道は『地道な自分との戦い』という
面がほとんどだとは思いますが、これだけ
たくさんの大会で良い成績が残せるのも、
部員やOBの方の協力なくしてはできな
かったと思います。」と坂本さん。試合前
の強化練習はもちろん、OBが頻繁に顔
を出し、指導をしてくれる事が弓道部の
誇りだそうです。

「今見渡すと、取材でみんな顔が緊張
していますが、いつもは結構和気あいあい
と練習をしていますよ。(笑)」

現在は10月に行われる九州学生弓道選
手権大会での入賞を最終目標に正規練
習が始まったばかり。3月に恒例の春季合
宿を行い、OBの指導のもと、審査の対象
となる基本動作や、弓具の勉強を含め実
技と知識の両方から総合的な実力強化に
取り組まれました。

今後はリーグ戦に勝ち残れるチーム作
りが目標という弓道部。実力が結果とし
て現れつつある今、一本一本矢を射る部員の
手に、それぞれの気合いが込められます。